



## 伝統文化にもっと親しむ

移動文化祭

松浦市文化協会（黒川<sup>ひろし</sup>廣治会長）が11月26日星鹿小学校で「移動文化祭」を開催しました。

この取り組みは、子どもたちが日本の伝統文化を実際に体験することで、自国の文化に関心や興味を持ってもらうことを目的に開催されており、同会会員が講師となって俳句、茶道、華道、三味線、琴などを子どもたちに指導しています。

この日は、同校の3年生から6年生まで56人が参加。児童らは講師に教わりながら普段の生活の中で触れる機会が少なくなった琴や茶道などを体験しました。



## 永年勤続の優良従業員を激励

勤労者の祭典

第32回勤労者の祭典（松浦市商工業労政推進協議会主催）が11月24日、文化会館で開催されました。

第1部の優良従業員表彰式では9人が表彰を受け、久住<sup>としのり</sup>呂利憲さん（九州松下工業株式会社）が表彰者を代表して謝辞を述べました。

第2部の職場対抗ソフトバレーボール大会では、市内事業所から12チームが参加し、事業所相互の親睦を深めながら汗を流しました。

上位の結果は次のとおりです。

【優勝】SAS - A（住商エアバッグ・システムズ<sup>株</sup>）

【準優勝】うえのJAPAN（<sup>株</sup>親和銀行松浦支店）

【第3位】松浦衛生A（松浦衛生<sup>株</sup>）



## 豪華な給食で学ぶ地域の食

学校給食への養殖トラフグ提供

新松浦漁業協同組合（志水<sup>まさし</sup>正司組合長）が、11（い）月29（フグ）の日にちなみ、全国有数の生産量を誇る松浦のトラフグをもっと知ってもらいたいと、市内全小中学校児童・生徒へトラフグの唐揚げ約2,100食をふるまいました。

この取り組みは、今年で7年目を迎えました。鷹島小学校3年生（16人）の子どもたちは、当日配布されたトラフグの資料を見ながら、関係者の説明を熱心に聞き、養殖トラフグの知識を深めました。児童らは、大きな唐揚げを口いっぱいほおぼっていました。



▲写真中央：保栄水産の坂元高幸さん、

写真右：下松水産の下松良一さん

## 音楽支援の新しいかたち

楽器寄附ふるさと納税

市が取り組みを開始した「楽器寄附ふるさと納税」の第1号の寄贈式が11月27日、御厨中学校で行われました。

この制度は九州初の取り組みで、家庭などで使わなくなった楽器を寄附したい人が、インターネット専用サイトから申し込んで業者が査定。寄附者は、評価額に応じて、税の控除が受けられる仕組みです。

当日、楽器の贈呈を受けた同中学校吹奏楽部部長の梶川<sup>ちのぶ</sup>千雛さんが「今回の寄贈に関わった多くの人に感謝し、学校行事や地域での演奏、各種コンクールなどをこれまで以上に頑張ります」と挨拶しました。楽器は、吹奏楽部の部活動で活用されます。



## いざという事態に備え、連携体制などを確認

長崎県原子力防災訓練

長崎県原子力防災訓練が11月30日、本市を含む県北部地域を中心に実施されました。

この訓練は、九州電力玄海原子力発電所の事故を想定し、緊急時における通信連絡体制の確立や緊急時モニタリング活動など、災害対策の習熟と防災関係機関相互における協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する正しい理解を促すため、毎年実施されています。

今年度は、住民避難として一時退避施設への退避訓練をはじめ鷹島地区から鷹島中学校の生徒18人を含む48人、星鹿地区から18人、志佐地区から55人が、それぞれバスなどで波佐見町、川棚町、東彼杵町への集団避難を実施しました。また、初めての試みとして携帯電話に避難指示を呼び掛ける緊急速報メールを配信しました。

今後、緊急時の情報伝達や避難手順などを確認し、その結果を受けてさらに改善が図られ、これらの取り組みを積み重ねていくことで、万一の事態に的確な対応がとれるようになります。



## みんなで飾りつけました

「みんなのツリー」点灯式

松浦商工会議所青年部（日高雅之<sup>まさゆき</sup>会長）が木材を組み立てて製作した「みんなのツリー」が市役所ロビーに設置され、12月4日に点灯式が開催されました。

このツリーは、同青年部が11月に開催した「松浦こども博」の木育コーナーで展示された際、来場者に大変好評だったことから、クリスマスバージョンのツリーに変身しました。

点灯式には、飾りつけを手伝った志佐保育園の園児たちが招待され「クリスマスソング」を歌って華を添えました。

（ツリーの点灯は、1月末日までの予定です。）



## 旬の味を求め、にぎわいました

松浦アールスメロンまつり

毎年恒例の松浦アールスメロンまつり（JAながさき西海松浦地区メロン部会主催）が12月1日、（道の駅）松浦海のふるさと館漁村体験学習施設で開催され、市推奨特産品のアールスメロンが販売されました。

メロンは、気象環境に影響されやすいため、生産者も豪雨や台風等による影響を心配されていましたが、大玉で甘く美味しく仕上がりました。

当日は、販売前から会場入り口に長蛇の列ができ、約300ケースのメロンが次々と売れていきました。

試食した来場者からは「とても甘い！美味しい！」と好評。会場は買い物客で、大いに盛り上がりました。

